

議長（志村 忠昭）

これをもって、11 番渡邊議員の質問は終わります。

次に、2 番、塩野拓二君。

議員（塩野 拓二）

おはようございます。

2 番、塩野拓二です。

一般質問させていただきます。

町長の政治姿勢について質問させていただきます。

町長は今年 2 月の選挙でご当選され、2 期目に入ってから 1 年間、通算で約 5 年間の町政の舵取りを勤めてこられました。

町財政が厳しいため、様々な事業が停滞していましたが、去年は中学校の改築や防災拠点となる消防庁舎の建設などの大規模事業も完成しました。

今後は、白方小学校の改築や多度津駅の自由通路の建設も進められています。着実に成果を上げられているのではないかと思います。

一方で、行政は様々にわたりますが、町長が掲げられた公約もまんべんなく触れられ、すべての町民が納得できるような行政を進めようとされており意欲と思いは伝わっていると思います。

しかしもっと大胆さがあってもいいのではないのでしょうか。

先日、行財政特別委員会の研修で島根県邑南町に行って参りました。

その町は『日本一の子育て村を目指して』町長が強い強いリーダーシップで舵取りを進めています。

良し悪しは別としてテレビや雑誌などで取り上げられています。

子育て支援だけではなく生活環境の確保や、婚活イベントなども行い、町をあげて、活性化に取り組んでいる姿勢を肌で感じてとても充実した研修でした。

これから人口減少が進み地方は衰退する一方で、町が生き残るためにも、町長の強いリーダーシップが期待される場所ですが、特色のある町政を行う考えはありますか。

町長のお考えをお聞かせください。

また、現在、総合計画の策定が進められていますが、町長の意向は十分反映されているのでしょうか。

町長は、最近では子育て支援や産業の活性化を進めているとも言われていますが、その具体策は何かお考えでしょうか。

先日の白方幼稚園の募集停止に関してですが、委員会において来年度からの募集停止を提案されましたが、その後すぐに撤回されました。

募集停止を前提に保護者の意見を聞くということでしたが、意見を聞いたら強い要望があったので白紙にしますのでは方針があいまいではないのでしょうか。

行政としては募集停止という重い決断を提案したのですから、もっと慎重に、そして強い意思を持って対応すべきであり、今回の対応はあまりにも軽かったのではないかと私は思います。

このままずるずると時間だけが進んでいくのではないのでしょうか。

白方幼稚園のみならず、幼稚園、小学校の数については議員の多くが危機感を持っています。

一部の保身のみ聞くのではなく、町全体の将来を考えて早急に決断すべきだと思いますが、この問題をどう解決していこうと考えておられるのでしょうかお伺いいたします。

町長（丸尾 幸雄）

塩野拓二議員ご質問の「私の政治姿勢について」にお答えをしております。私は基本的に、行政運営は健全な財政運営の上に成り立つと考えております。厳しい財政状況を考え、必要性に応じて、優先順位の高い事業から始め、できるだけ費用対効果を高めていくことに努めております。

その中で消防庁舎の改築、防災行政無線の設置等、災害に強い安心安全な町づくりと、多中校舎の改築に代表される子どもの教育環境の整備は一応の目途はついたように思っております。

来年度からは、子育て支援の更なる充実、JR多度津駅周辺の活性化、6次産業化を踏まえた町特産物の振興等を重点施策として、私が掲げた公約の実現に向けて取り掛かってまいります。

実施している全ての施策が自分の信念に基づいて、優先順位どおり、大胆に実施していると考えております。

行政の目的は、町民の幸せの向上であり、そのために住民サービスを向上させ、町の発展に繋げていくことだと常に認識をしております。

町民目線に立ち、町民ニーズを把握し、町民に参画していただき、協働して町づくりを行っていくことだと考えております。

施策を実施するためにはこのような裏付けが必要だと、考えております。

塩野議員がとても充実した研修を受けた、島根県邑南町の町長も住民ニーズを把握し、議会と相談をして施策を実施していると思っております。

それぞれの市、町、村の成り立ちや、財政事情、住民ニーズ等の違いによって、また、首長の思いや性格によって施策の濃淡は変わってくると思います。

白方幼稚園の募集停止の件につきましては白紙撤回しておりません。

募集停止という方向性を提示し、保護者や地域の方々と話し合う中で、1年の猶予期間を設けました。

一番大事なのは、幼稚園児が適正な幼児教育や集団生活できる環境づくりだと思っております。

1年の猶予期間で問題が解決できたら、募集停止する必要はありませんのでこの間、皆で考えましょうということであります。

なぜ募集停止にするのか、保護者や住民が共通認識を持って、改善策を考えることの方が大事だと思います。

これからは、町民皆さんを巻き込んで、多度津町の小学校や幼稚園の適正な数の議論に入ってまいります。

今回のことが、議論の発端になればいいと考えております。

強いリーダーシップを発揮するということは、自分の思いだけで、突き進んでいくのではなく、大所高所に立ち、客観的な視野で物事を判断し、信念を持って行動していくことだと考えております。

町民皆様の考えや意見を聞いて方向性を決断し、先頭に立って進んでいくのが強いリーダーシップを発揮することだと思っておりますので、ご理解いただきますようお願いを申し上げ、「私の政治姿勢について」の答弁とさせていただきます。

よろしく願いをいたします。

議員（塩野 拓二）

丁寧なご回答ありがとうございました。

まず1点ご質問ですけど、町長は基本的に行政運営は健全な財政の上というのが基本なお考えであります。その答弁の中で消防庁舎、多度津中学校、防災行政無線等、あと来年度から様々な公約を掲げて実施しているが、すみません、私の見解だけなんですけど、されているところの部分、消防庁舎、多度津中学校なんかは時期的なものの改築っていうのもあって、そのタイミングでしないといけない時期もあったと思います。

来年度以降、ここに掲げられていくところの部分は漠然としているように僕はとっているだけなんですけども、その中で町長のおっしゃる大胆であるとか、信念があるとかっていう言葉を言うてくださるのはあれなんですけど、中々理解ができないんですね。

ここ一つだけでもこれは大胆や信念やというところがあるんやったらお答えいただけたらと思います。

町長（丸尾 幸雄）

塩野拓二議員の再質問についてお答えをしております。

信念とか大胆という言葉を使いましたが、信念というのは私が町長に就任をさせていただいた時に、どうすればいいのか、なぜ私が町長に就任をさせていただいたのか、それは町を良くするため、町を活性化するため、元気にするためにはどうすればいいのか、そういうことを公約として掲げました。

その掲げた公約を強い信念を持って実行していくということ、それが信念です。

そして、大胆にということは優先順位はいくつかあります。
そのいくつかある優先順位の中で、自分が信念を持ってこれからまずやっ
ていくんだ、これから進めていく。
それを大胆に実行していく。
優先順位というのは、それぞれあります。
それぞれありますけども、「自分がこれがまず一番多度津町にとって最適の
施策だ。」と思っていることを大胆に実行していくことだと思っています。
それが大胆さだと思います。
いろんな施策があるからそれに惑わされて、どちらにしよう、またこれもしな
きゃいけない、限られた財政状況の中でそれが曖昧になってしまう、それは絶
対にだめですから、その為には大胆に施策を実施していく必要があると思っ
ています。
それが信念さと大胆さだと思っています。
ご理解賜りますようお願い致します。

議員（塩野 拓二）

ありがとうございました。
中々私も理解しづらいものがあるんですけども。
すみません、これ要望ですけど、様々な施策をされているところ十分に伝わる
んですけど、その一つ一つのところに私にも理解できるということは多分町民
にも分かりやすく理解できるようにということだと思うので、その信念と大胆
さをもっと強く強くアピール出来るように更に努めていただけたらと思いま
す。
あと、このまま質問いいですか。
続いてですけども、白方小学校の募集停止の部分についてですが、確か私の記
憶の中では、委員会の中では募集停止をするという文章が中に入ったと思うの
ですけども、募集停止をするということはそこで決断されとるということだ
と思うのですが、その後に白紙撤回をしていないということで、猶予期間を設
けているということですけども、そこで一度するという英断をなされるところ
で、1年の猶予期間を設けるということになった部分に関しては、私の意見と
したらするという決断をされたんですけども意見があつて猶予期間を設けた
ようにしているんですけど、その件に関してはいかがでしょうか。
お願いします。

町長（丸尾 幸雄）

塩野拓二議員の再々質問にお答えをしまします。
重い決断っていうのは、議会で決議されたこと、そして町としての方針として
その議決を重んじること、この事に関しては私は重い決断として実施してい

なければいけない責務があります。

この白方幼稚園の募集停止の件に関しましては、方向性を提示いたしました。今からこのままでいくと子どもの教育に関して、また共同生活に関して支障をきたす。

今、幼稚園というのは教育長の方からの説明も委員会の時に説明もありましたけども、共同生活というのが大変大きな要素を占めております。

共同生活というのは3人が1グループとして6人ですね、この6人がいるのが本来の共同生活ですから、その共同生活ができなくなった場合にはやはり考えなければならぬと思っております。

その中で来年28年も子ども達の数が少ないという、一応聞いておりますので、それだったら募集停止にした方がいい、そういうことを議会に提示をさせていただきました。

その中で28年からということになりました。

ただ、その時に教育長も申し上げましたけれども、保護者や住民の方と相談をしながらという1項目があります。

議員の皆さん方は、ご記憶があると思いますが、その中で相談をした中で、じゃあ1年の猶予を持ちましょう。

募集停止ということに関して方向転換したわけではありません。

募集停止をすることの方が、子ども達にとってプラスになると思っているから、そういうふうに判断をしたわけです。

それで募集停止ということになりましたが、ただ、募集停止をすることが目的ではないんです。

先程申しましたように、こういうことを保護者の方やまた住民の方々に考えていただくこと、これが非常に大事だと思っております。

それは先程の私の答弁の中でも申し上げましたけども、今からですね、小学校、多度津町の適正な小学校の数、もちろん幼稚園の数、それはどのくらいなのか、ということは、議会の皆様方とご相談をさし上げながら町民、保護者、PTA、そういう方々と一緒になって、これは総合計画の中にも入っておりますし、そういう中で考えていかなければならないと思っております。

それは早急な問題ではありません。

これは今、小学校の今耐震補強しました。

震度6強の地震には耐えられる耐震補強はしました、体育館も然りです。

幼稚園も然りです。

ただ、この校舎そのものが後、ずっと永久的にもつわけではありません。

10年から15年ぐらいしたら、立替しなければいけない。

立て替える時には、今の現状を考えて4つの小学校が必要なのか、幼稚園が必

要なのか、3つでいいのか、2つなのか、また1つなのか、そういうことを今から考えていかなければいけない。

そういうときには白方幼稚園が存続できるのかも分かりません。

子ども達のことをまず1番です。

子ども達の幼児教育をしていくこと、そのことを常に考えて多度津町の宝である子ども達が、健全な発育、健全な教育を受けるため、それは幼稚園教育は共同生活が非常に大事になります。

その共同生活を受けられる、そういう教育の環境づくりをしていくのが私共の最大の務めです。

その為には、好きで募集停止するわけじゃありません。

致し方なく、やむなく募集停止になるということです。

ですから28年からやりますよと言ったから、それをやらないのは公約違反とは思っていません。

それは皆さんが考えていただいて、一番いい方法を模索して実施していけばいいと思っています。

ただ今のままでいくと、来年28年は猶予期間、1年間設けましたけども、今のままでいくと29年度からは致し方なく、やむなく募集停止になるんじゃないかと思っていますが、その間1年間でどうか議員の皆様方もそして地域の皆様方、また保護者の皆様方もいい方法があれば、そういう方法を模索していい方法があればそれに決めていけば、共同生活ができるのであれば募集停止をする必要はないと思っています。

ご理解いただきますようお願い申し上げます。

議員（塩野 拓二）

ありがとうございました。

今、町長が丁寧にご説明していただいてすごく理解できたんですが、委員会の席です、そういったことを言うてくださっていたらよかったと思うんですけども、言ってくれとるのかもしれないんですけど、私だけでなくここにいる議員の方々も募集停止をするっていう言葉自体にものすごく、あの時に初めて言われたものですから、それによっていろんな町民の方にも伝わるじゃないですか。

募集停止をするっていうのが、わあっと町の中に広がって結果的に白紙撤回をしたようにとって、僕を含めてとってしまっているわけですけども、白方小学校のことが問題ではなくてですね、その白方小学校の件に関しての今おっしゃっていた意見を先に言っていたら、そこまでわあっと募集停止にならんで済んだんじゃないかなと思うんですけども。

募集停止にするということじゃなくてですね、僕らも含めてその町民の方がわ

あつとこう白方幼稚園が募集停止になるという噂が飛び交いましたので、そこら辺のその部分が後先になってしまっているの、議会も議決をする議会ではあるんですけども、少し今のようなご説明をいただけとったら、もう少し町民も募集停止になるっていう噂が飛び交って、どうなるんやということがなかったと思うんですけども、その説明とか発言に関してはいかがでしょうか。お願いします。

町長（丸尾 幸雄）

白方幼稚園の園児数が減少してきているということに関しましては、議員の皆様方もご理解をいただいているところだと推察をしております。

もうこの話は今始まったことではなくて、もう3年か4年前から白方幼稚園の存続についてどうあるべきか、私共の副町長、また教育長も含めいろいろ総務課長も入れていろんな話をしてまいっているところでありまして、その中で、認定子ども園という制度がありますけども、幼稚園として存続できなかつたら、今の保育所に認定子ども園のような幼稚園教育も含めたものを作っていたかどうかお考えはないのか、保育所会と何回か相談をいたしました。

その中で私共行政ができるだけの援助はしていきます、こういうこともします、こういうこともします、こういうこともやっていますから、やっていただけないでしょうかという話もさせていただきましたが、中々いい返事が頂けなかったという経過があります。

その中で、じゃあ白方幼稚園どうすればいいのか、という中で、じゃあもう募集停止、致し方なく、やむなく募集停止をするしかないのではないか、ということでありまして、私共の考えた中でもう28年から募集停止をしよう。

これは重大な決断ではありません。

議会で議決をもらったわけでもありません。

私共が全員協議会であったか、総務教育委員会だったか忘れましたが、その委員会の中でこういうふうにもっていきますと。

こういう方向性を示しました。

その事について、教育長の方からもPTAの方とか、また住民の方々と相談をしながら進めてまいりますというお話はさせていただきました。

私の話の中でも、今私が申し上げたことはその委員会の中で、お話を申し上げました。

皆様ご理解いただいているという思いの中で、委員会の中で28年度からの募集停止ということをご提案させていただきました。

方向性をつけさせていただきました。

住民の皆様、保護者の皆様方と話をしている中で、もう今ある程度分かっているとは思いますが、ただ感情的には、うんと言えない状況だと思っ

ております。

ただ 1 年募集停止にしたからといって白方幼稚園がなくなるというわけではありません。

先程も申しましたように子どもの幼児教育ができる環境ができれば、幼稚園は当然再開をするようになります。

そういう意味では 1 年間の猶予期間というのを設けたわけでありませぬ。

先程申しましたように、こういうことは一応議論の発端になればいいなあ。

これからのですね、多度津町の学校の在り方、幼稚園の在り方、これからの数も含めて、そういうことの議論の発端になればいいなあと思って提示をさせていただきました。

決していったん決めたことを覆したわけではありません。

そういう公約を破棄したわけでもありません。

議員の皆様方の強い決断を強く決めてきた重大な決断ではないと考えております。

ご理解いただきますように、お願いいたします。

議員（塩野 拓二）

ありがとうございました。

要望ですけれども、先程もお伝えした通り、前回の委員会の時に募集停止というお言葉をもって今のようなご説明があったら、度々ですけれども理解が、私も含めて議員各位理解ができるようになってくると思いますので、今回の件に関してですけれども、事前にご説明とか、ご提案とかをもう少し先にですね、ご提案いただいて、議会の中でも少し意見交換なんかをできるようなことをしていただけるようお願いできたらと思います。

続きます、入札制度について質問します。

まず、町の公共工事の発注状況についてお聞きします。

公共工事は社会資本の整備のほか景気対策としても実施されているところですが、財政状況が厳しい中で、その件数や金額も減少していると思います。

このため建設業界を取り巻く環境も厳しく、業者が技術員や作業員の不足によって発注に対応できなかつたり、資材の高騰などにより価格が折り合わなかつたりして、入札の不調も生じているという話も聞きます。

そこで、本町においても、昨年度は、多度津中学校と消防庁舎の建設という大規模な工事を発注したため、予算的にも厳しかったとは思いますが、道路の改修や護岸の整備などは町民の生活に欠かせないものであり、各自治会からの要望も踏まえた工事を実施されたと思います。

昨年度の工事実施状況はどうであったのか、さらには今年度の状況はどうなっているのかお伺いします。

また、町長も出来る限り町内業者で受注をとという思いは強いと思いますが、町内業者の受注状況はどうなっているのか、入札の不調はあるのかについても併せてお伺いいたします。

また町は、入札制度の見直しを行い、指名競争入札から一般競争入札を導入したと伺いました。

自治体の契約制度においては、すでに一般競争入札の導入が進んでいることから、本町での導入は遅かったようにも思いますが、新たに導入した制度の概要と町長の思いについての説明をお願いします。

また、これまでの実施状況やこれからの見込み、さらには一般競争入札を導入することによって町行政、町内業者にどのような効果が得られるとお考えでしょうか、よろしくお伺いいたします。

総務課長（石原 光弘）

塩野議員ご質問の、「入札制度について」お答えいたします。

従来、公共工事は、社会資本の整備を通じた住民生活の安全、環境の保全、豊かな地域社会の形成等を目的とし、実施されてきているところであり、高度成長期に整備された多くの社会インフラが更新時期を迎えている昨今、その重要性については一層高まってきているものと認識しており、本町としても、限られた財源の中、住民からの要望も踏まえつつ、計画的な工事施工及び予算の確保に努めてきているところであります。

さて、ご質問のありました本町における昨年度の公共工事の入札実施状況についてですが、入札件数 43 件、契約額の合計は、約 9 億 2,200 万円で、消防新庁舎建設工事を除いた合計額は、約 3 億 640 万円となっております。

消防新庁舎建設工事を除いた工事のうち、町内事業者の受注は、のべ 19 社、1 億 6,394 万円で、請負額に占める受注割合は 53.5%となっており、入札不調件数はありませんでした。

今年度の公共工事の入札実施状況については、11 月末時点で、入札件数 48 件、契約額の合計は、約 4 億 5,411 万円となっており、町内事業者の受注は、のべ 16 社、3 億 153 万円で、請負額に占める受注割合は 66.4%となっており、入札不調件数については、ありませんでした。

また、本町では、入札制度の見直しの一環として、10 月 1 日以降、設計金額が 5,000 万円を超える工事を対象に、制限付一般競争入札を導入しました。

これは、不良不適格業者の排除や工事等の品質確保の観点から、入札参加資格に地域要件や受注実績等一定の条件を付した上で入札参加者を募る方式であり、本町においては、競争入札参加資格者名簿に登載された者で、格付け等、町指定の条件を満たした事業者が参加可能となっており、今年度は、まだ対象の入札はありませんが、この制度の導入により、対象案件における入札及び契

約の透明性・競争性の向上が図られるものと考えております。

なお、町発注の公共工事においては、入札及び契約の透明性・競争性の確保とともに、災害対応を含む地域維持の担い手でもある町内事業者の中長期的な育成・確保も重要であることから、今後、町独自の発注者別評価点制度を導入し、競争入札参加資格者名簿における格付けの基礎となる「経営に関する客観的事項審査の総合数値」に加点を行うことにより、町内事業者を優遇し、入札への参加機会の拡大を図りたいと考えております。

これらの取り組みを組み合わせることで、町行政における透明性の向上とともに、町内業者の保護、育成についても図ってまいりたいと思いますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます、簡単ではありますが、塩野議員への答弁といたします

議員（塩野 拓二）

詳しい説明ありがとうございました。

私も一般競争入札に変わったお話を聞きまして、町内の業者である町民の方から指名から一般に変わったら広く範囲になるんで、中々町内業者を優遇してくれないみたいな意見があったので、今回質問したんですけど、この説明を聞いたら割と逆にものすごく町内業者を優遇して判断してやっていくっていうご回答をいただいていくので、僕はもうちょっと早くこういう説明の理解があったら、こういう質問もせんでもよかったのかもしれないんですけども、それも踏まえてもっと議会もそうですし、町民にこういったことも踏まえて分かるように広報なんかで一般競争入札に変わります、がしかしこういうことで、町内業者いうたら特定してしまうのでいかなんですけども、その町民に対してもっと優遇できるようにアピールしてはどうかと思うんですけどもその事についてはいかがでしょうか。

よろしく申し上げます。

総務課長（石原 光弘）

ご質問ですが、先に一般競争入札については先程申しました5,000万以上の設計金額に限るということでしております。

それでPRの方ですけども、先程言いました広い範囲で言うても町民にお知らせでは複雑な入札制度がありますので、業者さんについては来年度の1月から始まります28年の追加の指名入札について町内業者については優遇の加点をするというような説明ですね、お知らせをして再度出させていただくということでランクアップを図れると。

またホームページには、その旨は全て掲載しておりますので、業者さん関連のコーナーに入らせていただくとその内容が見れるということでPRさせていただいておりますので、ご理解いただきたいと思います。

議員（塩野 拓二）

すみません、今お聞きして認識不足でした、申し訳ございません。

そういったことも含めましてアピールできるところはアピールして、私らも理解できるところは理解して、今回の説明を聞いてから私も町内の住民であり、業者の方々にええことやとんやでというふうに強くアピールしていきたいと思しますので、もっともっと早くに僕ら議員各位にお知らせいただいたら、もっともっとアピールできると思しますので、広く広く広報するように努めていただけたらと思ひます、これは要望です。

以上です。